

ファシリテーターの方々の紹介(五十音順)

生徒対象

お名前・プロフィール・メッセージ



Andreas Schleicher (OECD 事務総長 教育政策特別顧問兼教育局次長)

OECD (経済協力開発機構) 教育局にて、PISA (生徒の学習到達度調査) や TALIS (教員・教授・学習に関する調査) 等の国際比較事業を立ち上げ、教育政策分析・政策提言を行っている。東北にも複数回足を運び、東日本大震災を経ての東北からの教育改革についても助言を行っている。



Gad Weil (国際イベントプロデューサー & ステージディレクター)

シャンゼリゼでの自然や電車や飛行機を使ったイベント、中国のパレード、また 2000 年 7 月 14 日には 200 万人を集めたピクニック、10 年に渡るニースでの有名なカーニバル等、世界各地でイベントを開催。

これまでの 30 年に渡る私の経験を、皆さんに伝えるためにここに来ました。皆さんのパリのイベントは、東北の自信と希望、そして再生を世界に示す、素晴らしいものになると信じています。

<<Votre jeunesse, vos idées et mon expérience seront ensemble les ingrédients d'un grand succès. (Your youthfulness and your ideas together with my experience will make the ingredients of a big success.)>>



Gaby Hostens

今は定年退職しましたが、昔は英語の先生や学校長、政策立案者をしていました。若者とともに、また若者たちのために活動することが大好きです。私にとって、「教えること」は、知識を共有すること以上のものです。教育は 4 つの柱— 知ることの学び、行うことの学び、誰かと共に生きる・他人と生きることの学び、存在することの学び— に基づく、とジャック・ドローールの言葉にあります。

私は、日本に 3 度訪れたことがあり、いくつかの小中学校を訪問する機会がありました。とても大きな和太鼓を作った職業学校の生徒さんたちから、素晴らしい思い出をいただきました。

私は、地震、津波、原発事故という 3 つの災害という難しい状況において実行されたこのプロジェクトに参加できることを楽しみにしています。私は、あなたたちが立ち直る力を持った人たちで、この状況を乗り越えることができると知っています。では、会場にてお会いしましょう。



Gabor HALÁS (元 ELTE 大学教授)

ハンガリーの教育改革を牽引。OECD 教育政策委員会及び CERI 運営理事会にはこれまでも 10 数年にわたってハンガリーの代表として参加し CERI 運営理事会の議長を務める等、OECD の教育改革関連事業や、各国の教育事業に精通している。

OECD 東北スクールの評価と分析の E P (エンパワメントパートナー) として参画している。

私は、東北スクールのプロジェクトやあなたがたの取り組みに対して称賛の気持ちでいっぱい입니다。あなたたちは困難な状況を抜け出さなければならぬとき、また、単純に過去のシステムを元に戻すだけでは復興ができないときに必要になる、活力や創造能力を持っているのです。



Juliette de Sarnez

渉外及びコンシューマー向けコミュニケーションの専門家。戦略コンサルタント、パートナーシップ開発、イベントコミュニケーションの展開などに従事。

震災から 2 年が経過しましたが、チーム「環」の現在を超えて、未来を創る、という皆さんの意思は、ますます大きなものになったのではないかと思います。だからこそ、私はみんなと共に、ここにいるのです。



Melissa Jeanette Sawyer

Youth Empowerment Project (YEP) の創設者および事務局長。15 年間に渡って十分な支援を受けられていない青少年の支援を考えてきた。TFA や JJPL で培った経験から、青少年には効果的なコミュニティ・ベースのサービスが必要であると感じ、JJPL の同僚とともに YEP を立ち上げる。2012 年に Woman of the Year を受賞。



Rogdericka Ellis

ニューオーリンズ出身の 21 歳。ハリケーン カトリーナにより高校を中退するも、YEP の一般教育修了検定 (GED) から GED を受け高校卒業資格を得る。ハリケーンで住まいを失うも、2 つの仕事をこなしながら母親を助けた。2012 年から大人向けプログラムの NOPLAY に参加している。現在はデルガド・コミュニティ・カレッジで看護の学位取得を目指しつつ、NOPLAY で他の生徒の夢の実現に向けて支援を行っている。



片貝英行 (NPO 法人キッズドア 事務局長
兼 復興支援担当)

中央大学法学部法律学科を卒業後、システム開発会社で公共システムの開発と運用支援を担当、企業向け研修会社にて階層別研修（新人～管理職）の他、全社員向け CSR 研修の企画・教材開発会社を担当。人事コンサルティング会社を経て、2010年5月から現職。2012年4月から東北大学教育学部（研究生）で教育行政学等を学習・研究中。

将来に選べる選択肢を1つでも増やせるように、できることは何でもしたいと思っています。やりたい！チャンスだ！と思ったらやりましょう。「幸運の女神には、前髪しかない」と言われています。見過ごしてしまうと後ろ髪は無いのでつかめません。自分は何をやりたいのかを持っていれば、チャンスは巡ってきます。強がったり、恥ずかしがったり、言い訳したり、逃げたり、周りに振り回されている暇はありません。一瞬一瞬を大事にするために、本音でぶつかって欲しいと思います。



榎木泰西 (テレビマンユニオン・プロデューサー)

早稲田大学卒業後、1986年テレビマンユニオンに入社。「地球ZIGZAG」「世界ウルルン滞在記」など数々のTV番組を演出・プロデュース。現在「情熱大陸」「NHKスペシャル」「ハイビジョン特集」などのドキュメンタリー番組をてがける。

東北には世界に誇れる伝統が、文化が、人情があります。みんなで力を合わせて、勇気を持ってアピールしましょう！



西島清順

1980年生まれ。明治元年より150年続く、花と植木の卸問屋「株式会社 花宇」の5代目。日本全国・世界数十カ国を旅し、収集・生産している植物は数千種類。日々集める植物素材で、国内はもとより海外からのプロジェクトも含め年間2,000件を超える案件に答えている。2012年1月、ひとの心に植物を植える活動“そら植物園”をスタート。コンサルティング事務所を構え、様々な企業・団体・個人と植物を使ったプロジェクトを多数進行中。著書『プラントハンター 命を懸けて花を追う』（徳間書店）。

中学2年生だったある朝、僕は阪神大震災を経験しました。おばあちゃん家は全壊し、ほとんどの温室のガラスが粉々になり何千という温室のなかの植物たちはボロボロになりました。

そんななか、父や従業員さんは、みんな黙々と片付けを続けていて、“何があっても生きていくことはこういうことなんだな”と強く思ったのを覚えています。いま僕は32歳になり、植物ができること、植物が教えてくれること、植物と触れ合うことで人と人のつながり作るきっかけを作るような仕事と活動をしています。もしパリの地に東北の桜が根付き、育ち、咲いたらきっとすばらしいメッセージとなり、勇気となることと思います。微力ではありますがお手伝いのできたらと思います。

“念ずれば花ひらく”



箕輪憲良 (Yahoo! JAPAN ヤフー株式会社 ソーシャルアクション室)

ヤフー入社後、検索などのマーケティングを担当。東日本大震災時に、社会貢献担当として寄付や NPO 支援などを実施。現在、復興支援や教育など、社会課題解決をミッションに持つ。

みんな、この世の中、今のままでいいと思う??

もし、「変わったほうがいい」と思うことがあるならまず、自分を変えちゃおう

そして、「コレだ!」と思ったことは世の中に発信していくこと

きっと世界はそこから変わっていくよ